



## 平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年6月30日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2493 URL <http://www.e-supportlink.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0784  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (補足資料は四半期決算説明会開催後ホームページに掲載予定です)  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	2,184	3.6	356	11.4	361	13.1	188	19.8
25年11月期第2四半期	2,107	△0.1	320	14.8	319	18.1	157	△37.5

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 192百万円 (21.4%) 25年11月期第2四半期 158百万円 (△37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	42.69	-
25年11月期第2四半期	35.62	-

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	4,930	2,972	60.3
25年11月期	4,996	2,780	55.6

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 2,972百万円 25年11月期 2,780百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年11月期	-	0.00	-	-	-
26年11月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	11.2	567	7.8	550	6.5	326	3.2	73.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期2Q	4,424,800株	25年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	26年11月期2Q	48株	25年11月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期2Q	4,424,780株	25年11月期2Q	4,424,800株

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

生鮮青果流通業界では、小売業の食料品販売額が概ね前年並みで推移いたしました。また、IT関連投資に関する国内売上高につきましては前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、将来に向けた持続的成長の礎を築きあげるべく、イーサポートリンクシステムVer.2の開発、生鮮MDシステムの導入拡大、研究開発活動のほか、戦略性を高める組織変更を行い、営業機能の集約による効率的な営業活動を実施し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

以上の結果、主にシステム事業における運用保守費や減価償却費の減少などにより、売上高は21億84百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は3億56百万円（同11.4%増）、経常利益は3億61百万円（同13.1%増）、四半期純利益は1億88百万円（同19.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、組織変更に伴い、システム事業及び業務受託事業が負担する費用が前年同期と比べ減少しております。

#### (システム事業)

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続すると共に、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、イーサポートリンクシステムVer.2の開発を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、データ件数が伸びました。

以上の結果、売上高は11億53百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は5億32百万円（同28.2%増）となりました。

#### (業務受託事業)

既存業務の安定運用の継続に加え、業務の付加価値を向上するための取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は9億36百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は3億79百万円（同14.3%増）となりました。

#### (農産物販売事業)

集荷数及び販売数の拡大を図り、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は94百万円（前年同期比160.9%増）、セグメント損失は22百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて65百万円減少し、49億30百万円（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。

内訳としては、流動資産が29億29百万円（同7.1%減）、固定資産が19億96百万円（同8.7%増）、繰延資産が4百万円（同21.9%減）となりました。

流動資産の主な減少要因は、売掛金が1億56百万円増加した一方、現金及び預金が3億59百万円減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウェア仮勘定が1億92百万円増加した一方、ソフトウェアが12百万円減少したことによるものです。

#### ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて2億57百万円減少し、19億58百万円（同11.6%減）となりました。

内訳としては、流動負債が9億72百万円（同13.3%減）、固定負債が9億85百万円（同9.9%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金が1億30百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が30百万円、長期借入金が59百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億91百万円増加し、29億72百万円(同6.9%増)となりました。

この結果、自己資本比率は60.3%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を1億88百万円計上したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期連結会計期間末に比して77百万円減少し、22億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は98百万円(前年同期は4億9百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を3億60百万円、減価償却費を57百万円計上したこと、売上債権の増加額を1億62百万円、法人税等の支払額を1億14百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億51百万円(前年同期は2億5百万円の支出)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1億50百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億6百万円(前年同期は30百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の純減額1億30百万円、長期借入金の返済による支出76百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年1月14日の「平成25年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,425,685	2,065,691
売掛金	272,267	429,073
有価証券	199,940	199,946
商品及び製品	341	8,253
仕掛品	18,846	7,854
原材料及び貯蔵品	16,477	6,164
その他	221,661	213,979
貸倒引当金	△965	△1,011
流動資産合計	3,154,254	2,929,950
固定資産		
有形固定資産	434,341	420,917
無形固定資産		
ソフトウェア	104,452	92,434
ソフトウェア仮勘定	956,134	1,148,662
その他	15,971	11,543
無形固定資産合計	1,076,558	1,252,640
投資その他の資産		
その他	390,452	387,808
貸倒引当金	△64,731	△64,795
投資その他の資産合計	325,721	323,013
固定資産合計	1,836,622	1,996,570
繰延資産	5,469	4,269
資産合計	4,996,345	4,930,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,206	1,935
短期借入金	135,000	5,000
1年内償還予定の社債	110,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	147,192	130,392
未払法人税等	123,720	180,125
賞与引当金	—	128,347
その他	600,705	446,645
流動負債合計	1,121,824	972,446
固定負債		
社債	220,000	190,000
長期借入金	328,344	268,348
退職給付引当金	304,185	312,696
資産除去債務	39,407	42,594
その他	202,153	172,320
固定負債合計	1,094,090	985,959
負債合計	2,215,914	1,958,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△563,904	△375,018
自己株式	—	△109
株主資本合計	2,778,285	2,967,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,145	5,324
その他の包括利益累計額合計	2,145	5,324
純資産合計	2,780,431	2,972,385
負債純資産合計	4,996,345	4,930,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,107,836	2,184,621
売上原価	1,188,473	936,897
売上総利益	919,363	1,247,724
販売費及び一般管理費	599,342	891,316
営業利益	320,020	356,407
営業外収益		
受取利息	328	422
受取配当金	496	496
業務受託料	3,300	—
投資事業組合運用益	5,325	12,814
その他	2,563	430
営業外収益合計	12,013	14,164
営業外費用		
支払利息	9,550	6,533
その他	2,804	2,551
営業外費用合計	12,354	9,085
経常利益	319,679	361,485
特別利益		
固定資産売却益	532	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	532	0
特別損失		
減損損失	—	511
その他	573	84
特別損失合計	573	596
税金等調整前四半期純利益	319,637	360,889
法人税等	162,014	172,004
少数株主損益調整前四半期純利益	157,623	188,885
四半期純利益	157,623	188,885



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157,623	188,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	534	3,178
その他の包括利益合計	534	3,178
四半期包括利益	158,157	192,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,157	192,064

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	319,637	360,889
減価償却費	126,469	57,483
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,796	8,510
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	128,347
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△157	110
受取利息及び受取配当金	△824	△918
支払利息	9,550	6,533
繰延資産償却額	1,172	1,200
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
減損損失	—	511
有形固定資産除却損	—	80
有形固定資産売却損益 (△は益)	△532	—
売上債権の増減額 (△は増加)	24,525	△162,683
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36,163	13,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,037	24,613
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,350	△17,146
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	228	539
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,490	△190,468
その他	△8,599	△12,381
小計	423,225	218,614
利息及び配当金の受取額	824	918
利息の支払額	△9,353	△6,232
法人税等の支払額	△5,429	△114,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,267	98,626
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,419	△19,844
有形固定資産の売却による収入	690	—
無形固定資産の取得による支出	△201,983	△150,584
敷金及び保証金の差入による支出	△305	△2,607
敷金及び保証金の回収による収入	203	724
投資有価証券の売却による収入	—	0
その他	10,100	20,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,714	△151,911
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	△130,000
長期借入金の返済による支出	△16,800	△76,796
社債の償還による支出	△40,000	△60,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23,802	△39,797
自己株式の取得による支出	—	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,602	△306,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172,951	△359,987
現金及び現金同等物の期首残高	2,169,846	2,625,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,342,797	2,265,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,126,937	944,640	36,257	2,107,836	—	2,107,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,574	3,833	4,932	11,340	△11,340	—
計	1,129,512	948,474	41,189	2,119,176	△11,340	2,107,836
セグメント利益又は 損失(△)	415,552	332,207	△21,715	726,044	△406,023	320,020

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△406,023千円には、セグメント間取引消去6,479千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△412,503千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,153,635	936,380	94,605	2,184,621	—	2,184,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,129	3,666	5,588	11,385	△11,385	—
計	1,155,765	940,047	100,193	2,196,006	△11,385	2,184,621
セグメント利益又は 損失(△)	532,583	379,770	△22,435	889,918	△533,511	356,407

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△533,511千円には、セグメント間取引消去6,629千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。